

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	新宮市立神倉小学校	山本眞也
学校所在地		
〒647 - 0015 和歌山県新宮市千穂 1 丁目 2 番 4 0 号 Tel 0735(22)8454 fax 0735(22)8458 e-mail kamikura_s@za.ztv.ne.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
弓場 起三子	教諭	
<p><b>〔学校の概要〕</b></p> <p>本校は、平成 24 年 4 月 1 日丹鶴小学校と千穂小学校が統合されて、神倉小学校として開校した。</p> <p>校区は、新宮市の西側、千穂ヶ峰に沿った地域と、旧市内を南北に縦断する国道 42 号線の熊野大橋から広角までの道路沿い両側の市街地及び国道 168 号線沿いの地域を含んで、合併前の旧市内の 2 分の 1 エリアがあろうかと思うほど広範囲である。この地域内には、市役所、県事務所、裁判所、警察署、県立新宮高等学校等の主要官公署がある。</p> <p>学校の立地は、千穂ヶ峰のふもとに位置し、世界遺産に登録された神倉神社、熊野速玉大社にはさまれた閑静な地域にあり、恵まれた環境の中で子ども達は生活している。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5 年生 75 名	3 名 職員 4 名	本校、世界遺産センター、熊野古道
実践研究テーマ		
世界遺産について知るとともに、豊かな心を育てる。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう。	
<p><b>〔キーワード〕</b> 世界遺産学習 情報活用能力</p>		
<p><b>〔単元目標〕</b></p> <p>(1) 世界遺産について考えることができる。</p> <p>(2) 実際に熊野古道を歩いたり、和歌山県世界遺産センターの入門講座を受講したりすることで、地域に素晴らしい世界遺産があることを実感することができる。</p> <p>(3) 体験した熊野古道について、自分なりにまとめ友だちと交流する。</p> <p>(4) 世界遺産を自分達で守っていこうとする心情を育てるとともに、自分達にできることについて考えることができる。</p>		
<p><b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b></p> <p>全体 15 時間 （「 世界遺産について調べよう 」 10 時間 ）</p>		
<p><b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b></p> <p>和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）</p> <p>和歌山県世界遺産マスター</p>		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産とは何かを学習する。</li> <li>日本に登録されている世界遺産を知る。</li> <li>世界に登録されている世界遺産を知る。</li> </ul>	日本の世界遺産を知り，世界遺産について興味をもてるようにする。	発言・ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産マスターさんに熊野古道について話を聞きながら，熊野古道を歩く。</li> <li>世界遺産入門プログラムを受ける。</li> </ul>	地域の自然と触れ合いをもたせる。紀伊山地の霊場と参詣道についての関心が深まるようにする。	発言・行動観察
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>紀伊山地の霊場と参詣道とは何かを学習する。</li> </ul>	熊野古道や熊野について学習し，本地域の世界遺産について興味をもてるようにする。	発言・ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の世界遺産について調べ，まとめる。</li> </ul>	自分の関心のある世界遺産について調べ，グループごとに調べられるようにする。インターネットや図書を利用できるようにする。	ワークシート・作文
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した情報を整理し，構成を考えてまとめる。</li> <li>学習発表会で発表する。</li> </ul>	自分達の思いや願いが分かるように表現の仕方を工夫させる。自分達が地域の歴史や文化を，守り伝えていく必要があることに気付かせる。	ワークシート・発表
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>(成果) 参詣道を歩いたり入門講座を受講したりするなどの現地学習を行い，地域の世界遺産について関心を深めることができた。また，自分の関心のある場所を調べ，発表することにより，まとめる力を高めることができた。</p> <p>(課題) 地域の世界遺産や文化財に対して興味や関心をもつことができたが，学習したことに対して自分の考えをもち，それを表現するためのプレゼンテーション能力等をつけていく必要がある。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の世界遺産に目を向け，守ろうとする人々の願いを感じたり自分の郷土を誇りに思ったりするなど，郷土愛が深まった。</li> <li>保全活動に関心をもち，環境への意識が高まった。また，自分達も遺産を大切に受け継いでいこうという気持ちが芽生えた。</li> <li>調べ学習やグループ学習の力が高まった。</li> </ul>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが学習を進めていく上で，世界遺産に興味をもち，自分たちのふるさとを誇らしく思えるような世界遺産学習を進めることが大切である。</li> <li>本地域における世界遺産の範囲は広く，児童の関心も様々であるため，資料や教材研究の工夫が必要となる。</li> </ul>			

## 様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

- ・神倉神社で1つの世界遺産ではなくて、そういうところが集まって1つの世界遺産だと分かりました。
- ・これからは、自然遺産、文化遺産などの世界遺産を自分なりに大切にしていきたいと思います。でも、それは一人ではできないので、周りの人たち一人ひとりにそういう意識を持ってもらうことが大切だと感じました。
- ・ぼくたちの身近な世界遺産の正式な名称は、「紀伊山地の霊場と参詣道」というのだということを知りました。日本には19の世界遺産があることを知り、すごいなあと感じ、他の世界遺産にも行ってみたいと思いました。
- ・熊野古道は、ちょっと怖かったです。でも、昔の人もこの道を歩いたのだなと思いました。昔は、この道を歩くのは、命がけだったことを知りました。
- ・世界の世界遺産についても少し知ることができました。世界遺産の数では、イタリアが一番多いことが分かりました。
- ・昔の人は、川を下ったり、山を歩いたりしながら、すごく時間をかけて熊野詣をしたのが分かりました。
- ・熊野古道には、ひのきとすぎの木がたくさんあることが分かりました。最近では、熊野古道に来る人がとても増えたこと、また、外国の人も来るということが分かりました。
- ・熊野古道を歩いて、坂道やでこぼこ道などがあってすべりそうになったりしたけど、すごくきれいな景色が見えてもっと見たいなあと思いました。気持ちがいやされたなあと思いました。
- ・熊野本宮大社の屋根が、木の皮でできていてびっくりしました。石段が、雨で水がたまらないようになっていてすごいと思いました。昔の人は、かしこいんだなと思いました。
- ・熊野古道を歩いたりして、昔のことの工夫や自然をあげわえて、本当に行って良かったなと思いました。
- ・熊野古道を初めて歩いて、日本で一番大きな鳥居を見ました。すごく迫力がありました。

